

平成30年1月25日開催教育委員会会議記録

(秘密会の部除く)

1 開会・閉会等について

日 時	平成30年1月25日(木) 午後3時
場 所	教育委員会室
開 会	午後3時00分
閉 会	午後4時04分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	雁 部 隆 治
委 員	阿 部 博 道
委 員	坂 根 慶 子
委 員	淺 松 三 平
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	後 藤 隆 宏
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	岸 川 紀 子
学 務 課 長	須 藤 浩 司
すみだ教育研究所長	石 原 恵 美
指 導 室 長	横 山 圭 介
地域教育支援課長	岡 本 香 織
ひきふね図書館長	高 村 弘 晃

2 議題について

(1) 議決事項

第1 議案第2号 教育委員会関係予算案に関する意見聴取について

(2) 報告事項

第1 教育課題の進捗状況について

3 会議の概要について

教育長 それでは、教育委員会を開会します。本日の会議録署名人は浅松委員にお願いします。本日は、議決事項1件、報告事項1件を予定しております。本日の日程ですが、告示日1月19日において、議決事項はなしとしていたところですが、墨田区教育委員会会議規則第2条の規定により、急施を要する議案として議案第2号を日程に追加して審議することとします。なお、本案は教育委

員会に関する予算案として、区長が区議会に提案を予定している議案です。したがって、本案は、議会に提案されるまでの間は、墨田区情報公開条例第6号第5号の行政運営上の審議等に該当する非開示情報に当たるため、秘密会として審議したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 それでは、議案第2号の審議については、秘密会として執り行うこととします。なお、会議の進行については、報告事項が終了した後、秘密会に入ることとします。

報告事項第1・・・資料P14～15

「教育課題の進捗状況について」、所管課長が資料のとおり説明する。

庶務課長 (学校校舎等の改築・改修事業について説明)

教育長 ただいまの説明についてご質疑、ご意見はありますか。

(質疑・意見なし)

指導室長 (新学習指導要領への対応について説明)

教育長 ただいまの説明についてご質疑、ご意見はありますか。

坂根委員 (坂根委員から資料を配布する。)今、お配りしたのは、本日、2校時に東吾嬬小学校で行われた「がん教育」の資料です。昨年も東吾嬬小学校のがん教育に参りましたので、昨年とどうい違いがあるかを知るために参観したいと思い、事前に連絡したところ、今日あるということで行ってまいりました。がん経験者のお話を聞くというかたちで授業を進めています。事前に経験者の方に聞くことについて児童にアンケートをとりました。それが裏面のワークシートです。これについて講演というか、お話を聞いています。この授業の前の保健体育の時間に「がんとはどういうものか」ということを説明したそうですが、子どもたちは非常に素直に受け取ってしまっていて、なかなか良い授業だったと思います。詳しいことは、また後で、内容については個別に申し上げますけれども、がん教育の授業とは一応こういうものですよということをご紹介しました。

雁部委員 この方がんの種類は何ですか。

坂根委員 この方は乳がんです。がん教育は、小学校と中学校とでは内容ややり方が違います。保健体育の内容も違ってきます。一応小学校6年でやって、中学になるともう少し発展して、身近な人ががんになったときにどうするか、どう接するか、そういうことに視点を置いています。

雁部委員 今、坂根委員からがん教育について話がありましたけれども、これは各小学校個別に、例えばがん経験者の方のお話を伺うという形なのですか。

指導室長 がん教育の実施につきましては、区の保健計画課と連携をして、がん経験者の方をコーディネートしています。学校から授業日等の調整内容を指導室で受け付け、保健計画課へ依頼し、がん経験者の方を学校に派遣してもらっています。

雁部委員 今、何のがんですかと聞いたのは、今回、乳がんということで、がんというと乳がんという捉え方になってしまう可能性もあります。がんの種類というのはこれだけあるという説明というのはあるのでしょうか。

指導室長 がん教育に関わる教材は準備していますし、あくまで経験者の方からは、そのがんにかかってこういう経験をしたという形でお話をしてもらっていますし、当然生活習慣に関わる部分についても教材の中には含まれていますから、そういう点ではそのような誤解はないと考えています。

雁部委員 今回は、たまたま乳がんの方だったということですか。

指導室長 はい、そのとおりです。

坂根委員 経験者の方からお話を聞く前に、どういうがんですか、ということではなくて、一般的にがんという病気はということかということ、その前の時間に勉強する形なので、ご本人の話から初めて乳がんと聞くことになります。

雁部委員 わかりました。

すみだ教育研究所長（学力向上新3か年計画の実施について説明）

教育長 ただいまの報告について、ご質疑、ご意見はありますか。

坂根委員 チャレンジ教室で、土曜日・秋期、放課後・中期と書かれていますが、この秋期と中期はどう違うのですか。

すみだ教育研究所長 土曜日コースが、秋に行う土曜日のコースということと、中期というのは、春でも秋でもない9月の放課後に行うコースということです。

すみだ教育研究所長統括指導主事 放課後コースにつきましては、夏休み前の前期コース、そして夏休み後から冬休みまでの中期コース、そして今、この時期から行うコースがあります。土曜日コースにつきましては、春期と秋期です。

教育長 春があるということですね。

すみだ教育研究所長統括指導主事 春があります。

坂根委員 わかりました。

すみだ教育研究所長（幼保小中一貫教育推進計画の改定について説明）

教育長 ただいまの説明についてご質疑、ご意見はありますか。

（質疑・意見なし）

その他1

坂根委員 錦糸中学校で行われた研究発表は、自己肯定感を育むということで、なかなか良い発表でした。それから、先週末のICTの公開授業で、中学校1校と小学校1校を見てきました。ICT機器にも皆さん非常に慣れてきているのですが、全般的にやはり小学校の方が熱心というか、使い勝手が良いようです。中学校の方は、先生にもよると思いますが、いまひとつというところもありました。これはICTに限らず、授業の教授力が非常に高い先生は上手く使っているという印象は否めないのですが、そこは道具の問題とはまた別のことがありますので、いろいろ考えていかなければと思っています。

その他2

浅松委員 私も同じくICT公開授業ということで、第二寺島小学校と第三寺島小学校に行ったのですが、小学1年生の算数の時間で時計の見方について、ノートを取るのに電子黒板が非常によく活用されていました。先生がノートの書き方を含めて丁寧に伝えるという意味では、ICTを活用するレベルが非常に高いとか、低学年に適しているというところもあるのですが、時計の読み方については、やはり長針と短針の関係の部分でつまずきやすいところが見られました。なかなか理解できていない子もいて、これも個々の進度と理解度に応じながら手当てしてあげたらよいのかなと思いました。それから、インフルエンザについて、ちょうど私が公開授業で学校へ行ったときに、学級閉鎖、次に学年閉鎖と続いていく学年が3つもあったのですが、校内は全体的にマスクをしている子も少ないですし、そして寒気で廊下もとても冷えていますので、外からウィルスを持ち込まないという意味でも私も含め外部からの来校者に対して、アルコール消毒を含めてマスク着用

を徹底するといったことが必要なのではないかと思いました。

その他3

阿部委員 私は、隅田小学校で行われたICTの研究発表会に行ってきました。やはり墨田区の場合は、先生がタブレット端末や電子黒板を活用するために時間をかけてやってきたので、非常に慣れてきているという印象を持ちました。また、講師の先生から区によっては全生徒にタブレット端末を配付しているところもあるようだけれど、実際の使い方が混乱している状態であり、墨田区のやり方がモデルケースとして非常に高い評価を受けているといったお話もありました。いろいろと試行錯誤があると思いますが、我が区の場合は非常に順調に取り入れられていて、熟成しつつあるかなという印象を持ちました。ただし、学科によってはそれが上手に使えるものと、単純に映像を写すといった板書の代わりに使うようなやり方と、いろいろと差があり、便利なツールではありませんが、それを入れたから物事が順調に進むというわけではないので、さらに研鑽しながら、データを修正し、共同学習に使っていくというノウハウを少しずつ蓄積していけば、さらに良いものになるのではないかと思います。もう1点加えると、最後に先生方の研究発表がシンポジウム形式で行われ、会場の質問等も受けながら、その場でいろいろ答えていくということで、従来になかった形の研究発表会で非常に有意義でした。

教育長 今、阿部委員が言われたように、ICTには例えばツールの話で出し入れが簡単という使いやすさがあると思っています。先ほど、浅松委員も言われた時計の読み方のように、今度はコンテンツの充実も含めた検討を、庶務課と指導室が連携しながらやっていますので、また委員会の方でも情報提供していきたいと思います。

その他4

坂根委員 先ほど、浅松委員からもインフルエンザの話が出ましたので、ちょっと付け加えますと、学級閉鎖や学年閉鎖になると、子どもだけではなく先生も結構インフルエンザに罹ってしまっていて、ある学校の先生から聞いた話によると、最近の傾向として若い先生に限らず、最近は50～60代でも罹っているということです。今まではどちらかというと言われていた人がなるとい、何でかよく分からないのですが、確か、インフルエンザの予防接種の費用は、75歳以上だと無料で、65歳以上だと割引されると思うのですが、学校の先生に対してはそういう助成がありません。先生は毎日混雑した満員電車に乗って通勤していて、子どもにもたくさん接する機会があるので、強制ではないですけれども、予防接種を勧めていただきたいと思います。

次長 インフルエンザの予防接種につきましては、坂根委員のおっしゃったとおり教員一人一人に強制はできません。学校でも特に小学校の方では、兄弟の関係から保育園や低学年との接触も非常に多いため、感染が拡大することも考えられることから、比較的教員の多くは、インフルエンザが流行する時期よりも早めに予防接種を受けていると思っています。ただ、教員に対して、予防に対する心がけを働きかけていくことは大事なことだと思いますので、改めて校長会等を通じて話をしていきたいと思います。

坂根委員 よろしく申し上げます。

教育長 それでは、議案第2号を審議しますが、会議冒頭での取り決めにより、行政運営上の審議情報に関わる案件であることから、秘密会として執り行うこととしますので、傍聴人の方はご退出

願います。

(傍聴人退室)

秘密会/教育委員会会議規則第26条第2項の規定により、別に会議録あり

教育長 以上で、教育委員会を閉会します。